Orange Smile

ささえる。 つながる。

国保みやざき

vol.3

2019年10月号

CONTENTS

01 クローズアップ

- ★オール宮崎で健幸なまちづくりの実現へ スマートウエルネスシティシンポジウム
- ●オレンジタイム PR イベントを初開催~見らんね!撮らんね!歩かんね!~「出張版 オレンジタイム」

06 NEWS & TOPICS

- ●60 秒版オレンジタイムが登場!! 10月から「オレンジタイム plus」放送開始
- ●生活習慣病予防には初回の保健指導がカギ 令和元年度宮崎県市町村保健活動連絡協議会 第1回市町村栄養士研修会
- ●効率的な制度活用を確認健康なまちづくりシンポジウム令和元年度全国国保主管課長研究協議会
- ●情報交換等の取組を推進宮崎県市町村国民健康保険運営協議会連絡会第1回運営委員会



宮崎県国民健康保険 イメージキャラクター 「オレンジくん」

クローズアップ

オール宮崎で健幸なまちづくりの実現へ

●スマートウエルネスシティシンポジウム

8月23日(金)、シーガイアコンベンションセンターで同シンポジウムを開催しました。同シンポジウムは、市町村におけるスマートウエルネスシティの実現に向け、市町村が直ちに実践できる具体例を共有し、スマートウエルネスシティ構想の実践・定着を推進することを目的に、本会、宮崎県市長会および宮崎県町村会が共同で開催。市町村長をはじめ、県市町村議会議員や職員等234人が参加しました。

シンポジウムでは、まず、筑波大学大学院の久野譜也教授が講演。講演では、「あなたのまちに住むと自然と健幸になれますか?」と題し、保健部局のみで実施する従来の健康施策では、国保・介護制度の維持が困難であることや、都市環境や公共交通網が健康に影響を与えていることが科学的に証明されていることなどを示されました。

講演後は、新潟県見附市の久住時男市長、 国土交通省の内田欽也大臣官房審議官(都 市局担当)、つくばウエルネスリサーチの塚 尾晶子執行役員をパネリストに迎え、「人生 100 年時代に対応可能なスマートウエルネ スシティをいかに早く作るか」をテーマに したパネルディスカッションを実施。久野 教授がコーディネーターを務め、スマート ウエルネスシティの実現に向け、それぞれ の立場から活発な議論が展開されました。

お問い合わせ先 総務企画課 企画・事業係

TEL 0985-25-5321 / FAX 0985-83-3359



講演を行った久野教授



パネルディスカッションの様子



来場者の様子

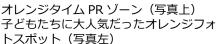
オレンジタイム PR イベントを初開催

●~見らんね!撮らんね!歩かんね!~ 「出張版 オレンジタイム」

8月31日(土)、イオンモール宮崎でオレンジタイムなどの PR イベントを開催しました。このイベントは、オレンジタイムやオレンジ くんをより多くの人に知ってもらうことなどを目的に初めて開催したもので、当日は、みやざき犬の「むぅちゃん」も登場し、多くの家族連れなどで賑わいました。









ウォーキングに挑戦したオレンジくん



「SALKO」アプリの PR も実施

お問い合わせ先 総務企画課 企画・事業係

TEL 0985-25-5321 / FAX 0985-83-3359

NEWS&TOPICS

60 秒版オレンジタイムが 登場!!

●10月から「オレンジタイム plus」 放送開始

県内保険者と共同で制作している「オレンジタイム」の新バージョンが 10 月から登場します。

新バージョンはテレビ放送 60 秒版で、番組名は「オレンジタイム plus」。従来の 30 秒版ではお伝えしきれなかった内容をたくさん盛り込み、国保の制度や手続きなどについて、より詳しくより分かりやすい内容でお送りします。

オレンジタイム plus は、毎週水曜日に放送中の「わけもん!!」(19 時 57 分~20 時 54 分・MRT 宮崎放送)内で放送しています。皆さん、ぜひご覧ください。

月	放送予定テーマ		
10月	入院したときや医療費が高額に		
11月	なったとき		
12月	 丸ごと解説!保険税		
1月	入しこ C.押部:1木1次1元 		
2月	今日から始める「健幸」づくり		
3月	交通事故にあったとき		

オレンジタイム plus は、 YouTube でも見ることができるよ!!



お問い合わせ先 総務企画課 企画・事業係

TEL 0985-25-5321 / FAX 0985-83-3359

E-mail: kikaku@kokuhoren-miyazaki.or.jp

生活習慣病予防には 初回の保健指導がカギ

● 令和元年度宮崎県市町村保健活動連絡協議会 第1回市町村栄養十研修会

8月2日(金)、本会で同研修会を開催 しました。研修会には、市町村や在宅保健 活動ひまわり会から 51 人が出席しました。

研修は、午前と午後の部に分けて開催し、 午前の部では、我が国における動向や法令 等を踏まえ、地域における健康づくりや栄 養・食生活の改善の基本指針等を確認。ま た、市町村の組織体制、生活習慣病の発症 予防や重症化予防の徹底を再認識しました。

午後からは、管理栄養士の中村千恵子氏を講師に招き、「データヘルス推進に向けた効果的な保健指導」と題した講演を実施。本県は、高血糖や高血圧、脂質異常から重症化になりやすい対象者が多いため、特定健診データを基に、きめ細やかな保健指導により気づいてもらうことがポイントとなります。出席者は、初回の保健指導がいかに大切かあらためて確認しました。



お問い合わせ先 保険者支援課 健康推進係

TEL 0985-25-5208 / FAX 0985-25-5992

E-mail: jigyou2@kokuhoren-miyazaki.or.jp

効率的な制度活用を確認

- ●健康なまちづくりシンポジウム
- ◆令和元年度全国国保主管課長研究協議会

8月27日(火)、健康なまちづくりシンポジウムが東京都で開催され、都道府県や市区町村、国保連合会の関係者約700人が参加しました。同シンポジウムは、まち全体の健康度の向上や、被用者保険との連携による国保保健事業の発展を目的に開催。シンポジウムでは、東京大学高齢社会総合研究機構教授の基調講演のほか、「人生100年時代に向けて、今何を考えるべきか~高齢者の保健事業~」をテーマとしたパネルディスカッションが行われました。

また、翌28日(水)は、全国国保主管課長研究協議会が開催。同協議会は、国保事業の運営上の諸問題を研究・協議し、事業の発展を目指すことを目的として毎年開催されているものです。会では、厚生労働省保険局国民健康保険課長の講演が行われたほか、「保険者努力支援制度をどう活かすか」と題したシンポジウムが行われました。



お問い合わせ先 総務企画課 総務係

TEL 0985-25-4901 / FAX 0985-83-3359 E-mail: soumu@kokuhoren-miyazaki.or.jp

情報交換等の取組を推進

● 宮崎県市町村国民健康保険運営協議会 連絡会 第 1 回運営委員会

9月17日(火)、本運営委員会を宮崎市中央公民館で開催し、県内9市および町村ブロック代表の国保運営協議会会長や担当職員27人が出席しました。

本年度から、宮崎市国保運営協議会会長の倉真一氏(宮崎公立大学 准教授)が連絡会会長に就任。委員会では、昨年度の実績報告や本会のスマートウエルネスシティ構想推進事業の取組概要に関する説明のほか、委員研修会について協議しました。

委員からは、各市町村における課題や取 組事例等について意見が挙がり、今後、同 委員会において、意見交換や情報共有を充 実させていくことなどを確認しました。

【令和元年度 委員研修会概要】

日 時:11月12日(火)午後2時~4時場 所:宮崎市民プラザオルブライトホール内容:講演「(仮)無関心層対策としての健幸アンバサダーの取組」

講 師:つくばウエルネスリサーチ 塚尾 晶子 氏



お問い合わせ先 総務企画課 企画・事業係

TEL 0985-25-5321 / FAX 0985-83-3359

情報ひろば

風しんの追加的対策に係る Q&A(第 2 回)

本年4月から、昭和37年4月2日から昭和54年4月1日までの間に生まれた男性を対象に、風しんの追加的対策が実施されています。

本Q&Aでは、医療機関等や市町村からの問い合わせが多い事例について掲載します。

事例 1

【質問】10 月から消費税率が変わりますが、抗体検査や予防接種の費用にかかる消費税は、いつの時点で計算するのでしょうか。

【回答】抗体検査および予防接種を 「受けた日」 の消費税率で計算してください。

事例 2

【質問】同一の市区町村で、消費 税率が異なる受診票や予診票が あります。

市区町村別請求書は 1 枚にまとめて良いのでしょうか。

【回答】同一の市区町村であっても、消費税率ご とに市区町村別請求書を作成してください。 (市区町村別請求書の右下に消費税率を記載する 箇所があります)

事例 3

【質問】消費税を計算する際の1 円未満の端数は、どのように処理 すればいいのでしょうか。

また、受診票等が複数ある場合は、どのように処理すればいいのでしょうか。

【回答】 1円未満の端数は切り捨てで算出してください。また、受診票等が複数ある場合は、1件ごとに税込金額を算出のうえ、合計金額を算出してください。

く参考>

「医療機関・健診機関向け手引き(第3版)2019年7月10日改正」の33ページに記載。

※手引きが更新された場合は、ページ数が変わる 可能性があります。

▼掲載箇所【厚生労働省ホームページ】

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/000116890_00003.html

お問い合わせ先 総務企画課 企画・事業係

TEL 0985-25-5321 / FAX 0985-83-3359

後期高齢者医療広域連合通信

●宮崎県後期高齢者医療広域連合議会(令和元年8月)議決事項のお知らせ

◆平成 30 年度決算

(単位:千円)

	歳入	歳出	差引残高
一般会計	202,399	197,785	4,614
後期高齢者医療 特別会計	159,644,242	154,242,317	5,401,925
合計	159,846,641	154,440,102	5,406,539

端数処理の関係で決算書(円単位)とは数字が異なります。

◆令和元年度補正予算(第1号)

(単位:千円)

	補正前	補正額	合計額	伸び率 (%)
一般会計	208,935	4,613	213,548	2.2
後期高齢者医療 特別会計	151,920,483	5,379,864	157,300,347	3.5
合計	152,129,418	5,384,477	157,513,895	3.5

【特別会計】

- ・国県市町村及び支払基金への償還金(4,235,662 千円)
- ・保険給付費等準備基金への積立金(1,142,955 千円)

◆新しい議会体制

議 長 濱中 武紀(日南市議会議長)/副議長 半渡 英俊(木城町長)

◆監査委員の選任

永友 繁喜(新富町議会議長)

- ※そのほか、債権放棄の報告などを行っています。
- ※議会の会議結果や会議録については、宮崎県後期高齢者医療広域連合ホームページ (http://www.miyazaki-kourei-kouiki.jp/) をご覧ください。

お問い合わせ先

宮崎県後期高齢者医療広域連合 TEL 0985-62-0921

こくほ随想「薬から食へ」

厚生労働省 政策参与 武田 俊彦

ここ数年、「薬から食へ」というフレーズを多用している。この言葉に、様々な意味が込められている、と思っているからである。

日本人は本質的に薬が好きなのではない か、と思えるほど日本では投薬量が多い。

「薬をもらいに行く」と言って医療機関に行く人も多いし、診察なしでもとにかく薬さえもらえればいいんだ、と医師にいう患者さえいたという。かつては公定価格と実際の購入価格の間の価格差も大きく、医療機関の側でも投薬が収入源になっていた面もあって、我が国の薬剤費比率は、平成元年には32・1%と非常に高い水準にあった。医療費の3分の1近くが薬代だったわけだ。現在は、薬剤費比率、薬価差ともに大きく改善してきているものの、高齢化もあって投与量はまだ大きい。

その投与の実態だが、医療費統計を見る際には注意しなければならないことがある。それは、多くのデータがレセプトをベースに作られていることだ。長い間、患者 1 人にどれくらいの薬が出されているか、正確な数字はなかった。レセプト 1 枚 1 枚には薬の数は記載されているが、患者が複数の医療機関にかかり、さらに複数の薬局に処方箋を持って行った場合など、患者単位でレセプトを抜き出して付き合わせてみる、ということが難しかったからである。それではいけない、ということで、筆者が保険

局審議官の時に、一か所の市町村国保、一 つの県の後期高齢者医療広域連合に協力い ただき、特別な処理能力のある企業にデー タの整理をしてもらうことになった。

この結果は、平成27年7月22日の中医協基本問題小委員会に出されているが、衝撃的なものだった。国保のデータでは65歳から74歳までの患者の約1割が10剤以上の薬剤が処方されており、75歳以上の後期高齢者医療制度のデータではその比率は患者の4分の1以上に上がっていた。高齢者医療においては、5剤を超えれば副作用の出現率が高くなると考えられている。高齢になるほど薬剤の代謝機能が低下するため副作用が強く出やすいとされており、その考えからすれば、逆に薬剤が増えるこの実態は看過されるべきではないのだ。

このため保険局サイドでは、投薬量を抑え、投薬量を減らすインセンティブが議論され、医薬局サイドでも高齢者における医薬品の適正使用の検討会が始まった。

このように一定の対策が取られ始めたが、この問題は医療を考える上で、示唆に富むものだと思っている。一つは、多剤投薬(これをポリファーマシーという)が善意の積み重ねとして発生していることである。患者の訴えに一つ一つ対策を講じていくと、いつのまにか投薬数が増えてしまう。最初の薬の影響で出てきた症状に対して、別の薬で対処しようとすると、また別の症状が

出て、またそのための薬を出す、ということが現実に起きていた。この処方の積み重ねを、処方カスケードと呼んでいる。そして、薬を増やすのは簡単でも、薬を減らすことは、実に手間がかかり、困難で、かつ経済的インセンティブがないということも明らかになった。かくして、この議論を受けた平成28年度改定においても、病院、診療所、薬局への報酬について、様々な内容が盛り込まれることになったし、このことは良かったと思う。

しかし、社会を変えるためには、理念が必要である。薬を減らすことは、なぜいいのか、それによって何を充実しようとしているのか、そういう議論が必要だと感じていた。そこで思いついたのが「薬から食へ」というキャッチフレーズであった。(2015年8月22日の日本医事新報参照)。患者の食べたいという願いを優先して考え、そのために専門家が駆使する技術を重点的に評価する。それこそが、日本の医療を患者中心に変えていくことにつながるのである。

(記事提供 社会保険出版社)



【プロフィル】 **武田 俊彦** (たけだ としひこ)

生年月日 昭和 34 年 9 月 2 日 出身地 岩手県 厚生労働省 政策参与 ボストンコンサルティンググループ シニアアドバイザー 東京海上日動火災保険株式会社 顧問 岩手医科大学 客員教授

【略歴】

1983 年東京大学法学部卒業、厚生省入省。大蔵省主計局、ジェトロ・ニューヨーク事務所、北海道庁への出向などを経て1999 年に大臣秘書官(丹羽雄哉厚生大臣)。2000 年に医政局企画官。以後、主に医療分野を担当し、医政局経済課長、同政策医療課長や保険局国民健康保険課長、同総務課長を歴任。

その後社会保障担当参事官として社会保障・税一体改革を担当。 2年間の総務省出向(消防庁審議官)を経て、官房審議官(医 療保険担当)、政策統括官(社会保障担当)、医薬・生活衛生 局長、医政局長。2018年7月退官。2018年11月、厚生労働 省政策参与に就任。

【学会、委員等】

日本医療・病院管理学会、医療経済学会に所属。 日本医師会 医療政策会議 委員

【共 著】

オバマ政権はアメリカをどのように変えたのか―支持連合・政 策成果・中間選挙

吉野孝他編著 東信堂 2010

【論文・寄稿】

・「医療・介護改革の羅針盤: シミュレーションの概要と診療・ 介護報酬改定の今後」

「病院」第71巻第11号(共著)

「わが国にふさわしい「非営利ホールディングカンパニー」構想とは」

「病院」第73巻第8号

・「世代間格差論に対する考え方― 社会保障の教育推進に関する検討会資料から―」(上・下)

「週刊社会保障」No.2679,2012年5月28日、

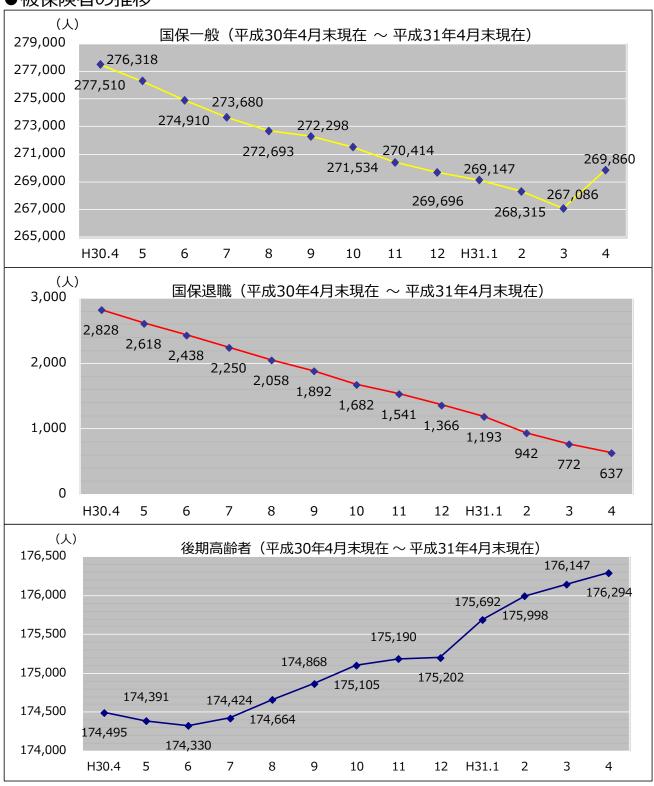
No.2680,2012年6月4日

データコーナー

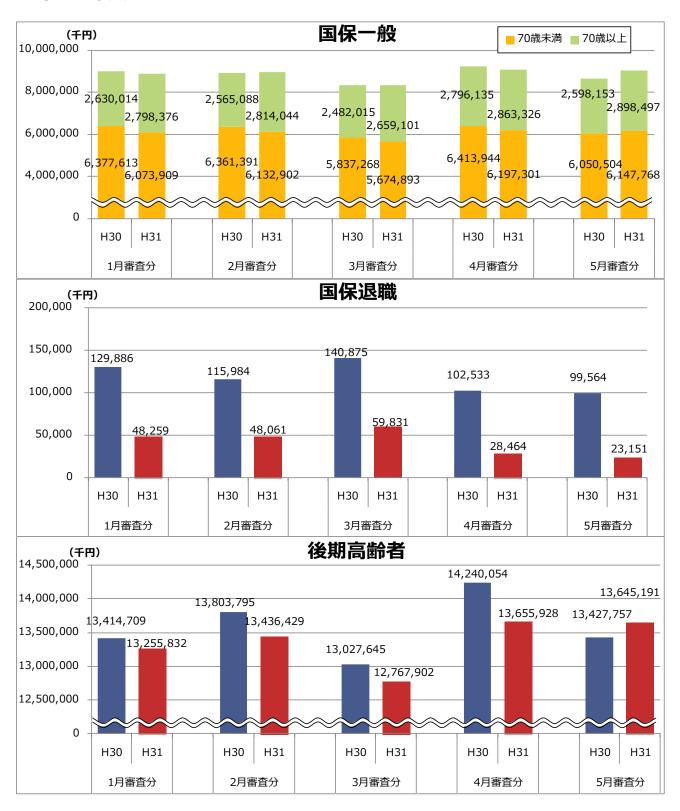
医療費データ

(注) 数値は、市町村月報集計(速報値) および宮崎県後期高齢者医療広域連合からの提供

●被保険者の推移



●月別医療費



介護保険だより

●年度別・月別受給者推移



介護保険データ(平成 31 年 4 月審査分~令和元年 7 月審査分)

	確定件数状況			介護給付費(総合事業を含む)			
保険者名	30/4月~30/7月	31/4月~01/7月	対前年度伸び率	30/4月~30/7月	31/4月~01/7月	対前年度	伸び率
	確定件数合計	確定件数合計	(%)	給付費合計(円)	給付費合計(円)	(%)	順位
宮崎市	160,492	167,328	104.3	10,051,614,817	10,208,986,579	101.6	8
都城市	86,688	87,211	100.6	5,223,625,526	5,211,509,104	99.8	14
延岡市	65,415	65,191	99.7	4,133,188,540	4,180,185,618	101.1	9
日南市	27,946	28,617	102.4	1,996,871,871	1,964,807,513	98.4	18
小 林 市	25,282	25,497	100.9	1,755,227,187	1,773,688,518	101.1	10
日向市	23,176	22,409	96.7	1,570,776,696	1,584,802,763	100.9	11
串間市	9,460	9,210	97.4	749,395,166	739,704,205	98.7	17
西都市	14,476	14,765	102.0	1,135,373,099	1,132,879,413	99.8	13
えびの市	12,406	12,354	99.6	942,376,556	943,840,810	100.2	12
三股町	10,313	10,067	97.6	671,356,629	663,934,254	98.9	16
高原町	4,479	4,824	107.7	360,725,680	375,692,126	104.2	3
国富町	10,484	10,834	103.3	693,250,579	725,781,349	104.7	2
綾 町	3,575	3,317	92.8	252,776,119	248,527,906	98.3	19
高鍋町	7,240	7,358	101.6	515,194,704	526,113,843	102.1	7
新富町	5,253	5,325	101.4	413,072,509	411,423,438	99.6	15
西米良村	552	501	90.8	53,062,949	47,967,388	90.4	26
木城町	2,525	2,672	105.8	207,044,643	201,495,851	97.3	21
川南町	5,908	5,960	100.9	465,654,989	482,814,073	103.7	4
都農町	4,271	3,936	92.2	324,765,919	306,067,671	94.2	24
門川町	7,267	7,377	101.5	455,312,438	431,577,378	94.8	23
諸塚村	1,065	1,026	96.3	67,130,431	61,959,240	92.3	25
椎葉村	1,633	1,594	97.6	113,679,587	116,442,341	102.4	6
高千穂町	5,685	5,686	96.4	396,096,302	409,789,497	103.5	5
日之影町	2,144	2,066	93.3	189,944,244	206,189,381	108.6	1
五ヶ瀬町	1,727	1,612	98.4	121,311,461	118,397,797	97.6	20
美 郷 町	3,945	3,881	100.0	316,732,705	308,095,993	97.3	22
市町村計	503,407	510,618	101.4	33,175,561,346	33,382,674,049	100.6	

- *確定件数・給付費は国保連合会審査支払データによる。
- *給付費合計・・・介護給付費、特定入所者介護サービス費、高額介護サービス費および総合事業費の合計。
- *前年度伸び率は、平成30年度を100とした場合の%の表示。

お問い合わせ先 情報・介護課 介護福祉係

TEL 0985-35-5111 / FAX 0985-25-0260

国保連行事予定(10月~12月)

●10月

日	曜	行事	場所
10	木	レセプト受付日	国保連 本館1階ライブラリー室、東別館1階受付窓口
17	木	柔整審查委員会	国保連 本館 2 階第 2 会議室
17		九市保健活動地区協議会(~18日)	えびの市
18	金	国保審查委員会(~23日)	国保連 本館 4 階大会議室
10	217	国保審査小委員会	国保連 本館 1 階ライブラリー室
19	土	第 30 回宮崎県国保地域医療学会(~20 日)	シーガイアコンベンションセンター
23	水	国保合同審査委員会	国保連 本館 4 階大会議室
24	木	介護給付費審查委員会(医療部会)	国保連 東別館 1 階会議室
25	金	宮崎県市町村保健活動連絡協議会 第2回市町村保健師研修会	国保連 本館 4 階大会議室
28	月	介護保険 新規指定事業所説明会	国保連 東別館 1 階会議室
29	火	あはき審査委員会	国保連 本館 2 階第 2 会議室

●11月

日	曜	行事	場所
1	金	レセプト点検確認事務研修会	国保連 本館 4 階大会議室
8	金	宮崎県国保診療施設協議会看護部管理者会議	国保連 本館 4 階大会議室
10		レセプト受付日	国保連 本館1階ライブラリー室、東別館1階受付窓口
11	月	国保主管課長会議	国保連 本館 4 階大会議室
12	火	令和元年度 宮崎県市町村国保運営協議会委員研修会	宮崎市民プラザ
15	金	柔整審查委員会	国保連 本館 2 階第 2 会議室
16	土	国保審查委員会(~20日)	国保連 本館 4 階大会議室
18	月	国保審査小委員会	国保連 本館 1 階ライブラリー室
20	水	国保合同審査委員会	国保連 本館 4 階大会議室
21	木	介護給付費審査委員会(医療部会)	国保連 東別館 1 階会議室
25	月	介護保険 新規指定事業所説明会	国保連 東別館 1 階会議室
26	火	あはき審査委員会	国保連 本館 2 階第 2 会議室
28	木	国保制度改善強化全国大会	日本消防会館(東京都)

●12月

日	曜	行事	場所
6	金	宮崎県市町村保健活動連絡協議会 第2回市町村栄養士研修会	国保連 本館 4 階大会議室
9	月	在宅保健活動ひまわり会作業部会	国保連 本館1階ライブラリー室
10	火	レセプト受付日	国保連 本館1階ライブラリー室、東別館1階受付窓口
13	金	柔整審查委員会	国保連 本館 2 階第 2 会議室
14	±	国保審査委員会(~18日)	国保連 本館 4 階大会議室
16	月	国保審査小委員会	国保連 本館 1 階ライブラリー室
18	水	国保合同審査委員会	国保連 本館 4 階大会議室
20	金	介護給付費審査委員会(医療部会)	国保連 東別館 1 階会議室
24	火	介護保険 新規指定事業所説明会	国保連 東別館 1 階会議室
24		あはき審査委員会	国保連 本館 2 階第 2 会議室

イベント用機材等の貸し出し

市町村の皆さまが実施する健康まつりやイベントなどで活用できます。 詳しくは、本会ホームページをご覧ください。

貸し出し品一覧

- ■オレンジタイム DVD
- ■オレンジくん着ぐるみ
- ■体組成計
- ■もの忘れ相談プログラム
- ■ライフコーダEX(生活習慣記録機)
- ■チェッカーくん(足指力測定器)
- ■マイクロ CO モニター(呼吸ガス分析装置)
- ■健康パネル
- ■のぼり
- ■はっぴ
- ■テーブルクロス
- ■ロールアップバナー

皆さんのまちへ、 ボクを呼んでください!



Smile

ささえる。 つながる。

Orange 国保みやざき vol.3 2019年10月号

宮崎県国民健康保険団体連合会

〒880-8581 宮崎市下原町 231-1 TEL 0985-25-5321 / FAX 0985-83-3359 https://www.kokuhoren-miyazaki.or.jp